

テーマ 保健室から発信する健康教育を考える

期 日 平成29年11月9日(木) 9:30～16:30

場 所 県立倉吉未来中心

講 師

①特別支援教育ネット代表 宇部フロンティア大学臨床教授	小栗正幸氏
②鳥取県スクールカウンセラー	松下成子氏
③島根県安来市教育委員会学校教育課指導講師	荊尾玲子氏

参加者 県内養護教諭・養護助教諭 211名

研修の概要

①【講演】「保健室における支援が必要な児童生徒への対応」

保健室における支援が必要な児童・生徒への対応について研修した。講演では、支援が困難になっている子どもと、どんな対話をすればその子との関係性が不快なものにならないかといった具体的な対話法を学んだ。また、養護教諭も、支援が困難になっている子どもたちとの関わりにおいて、子どもたちが変容しやすいようにプロデュースすることが求められている役目であることも学んだ。多くの事例をもとに具体的にお話しいただき、日々の保健室における子どもたちへの対応について振り返ったり、考えたりするよい機会となった。また、これからの実践に向けての意欲を高めることができた。

②【講義・演習指導助言】「養護教諭の視点からの気づきを支援へ」 ～つなぎ・ひろげる 健康相談～

養護教諭の気づきを健康相談へ、そして校内体制へとつなげていく上での養護教諭のアセスメント力、マネジメント力について研修した。演習では、事例をもとに健康相談、校内体制へ広げるための支援会議を体験し、アセスメントに必要な児童生徒の情報整理や具体的なつきたい力を意識した支援策へつなげるプロセスを学んだ。また、保健室からの発信を校内支援会議へ結びつけるポイントについても学んだ。研修をとおして、支援につなげる具体的なイメージを持つことができ今後の取組の意欲を高めることができた。

③【講話・指導助言】「組織的に機能する保健室経営の進め方」 ～保健室経営計画の作成・実施・評価を通して～

グループワークを通して情報収集、データ分析、情報発信、連絡調整など養護教諭として組織的に機能するための役割について研修した。講話では、養護教諭に求められる力、養護教諭の役割、保健室経営の重要性、保健室経営計画の必要性和評価、作成の手順について学んだ。子どもたちの健康課題解決のためには学校全体の取組とすることが必要であり、養護教諭には学校保健推進の中核、連携におけるコーディネーターの役割が求められていることを再確認した。組織的な保健室経営を運営することの重要性、養護教諭の役割を考えることで今後の日々の実践に繋ぐ研修となった。

成果と今後の課題

研修を通して、保健室における児童生徒との関わりや健康相談など、日々の職務を振り返る良い機会となり、保健室の機能を生かした養護教諭の専門性について深く学ぶことができた。

子どもたちの健康課題を解決するためには、学校全体の取組とすることが必要であり、健康相談を支援会議へ結びつけることや、課題解決型の保健室経営計画を立て、計画的・組織的に保健室経営を推進することが重要であることを学んだ。今後、学校保健の推進にあたり養護教諭としての専門性や実践力をさらに高めていきたい。

